

大学等名：共愛学園前橋国際大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型



- 教育の国際標準化のための学修質保証システムを構築し、主体的学修者の育成とエビデンスに基づく検証・教育改善を実行する。
- シラバス・My Library・ポートフォリオを連携させたICTシステムと、図書館員を中心とした学修相談支援システムを有機的に活用できる学修環境を整備し、正課・準正課における学修の充実を促進する。
- アクティブ・ラーニング(AL)の質保証の研究を行い、学修成果の達成度を高めるALの実践を促進する。
- 独自に開発する学修成果指標・ポートフォリオ・ステークホルダー調査等により多面的な学習成果の可視化を進め、教育プログラムの改善を図るとともに主体的学修者育成のための支援を充実させる。

本学の教育方針（本事業の基盤）

- 建学の精神（学則第1条）：「共愛＝共生の精神」
- 教育の目的（学則第3条）：「国際社会のあり方について見識と洞察力を持ち国際化に伴う地域社会の諸課題に対処することのできる人材を養成すること」
- 教育研究計画：「グローバル化する地域の振興を担う人材の育成」「グローバル人材育成の推進」
- アクティブラーニング(AL)の取り組み：専任教員全員が実施、全授業の75%がAL

□ 特色1

■ 教学マネジメントと図書館の連携強化

- ◇ 図書館が学修に必須のプラットフォーム機能を担う
- ◇ 図書館を中心とする授業・授業外学修支援の充実
- ◇ 学術情報リテラシー教育の充実

□ 特色2

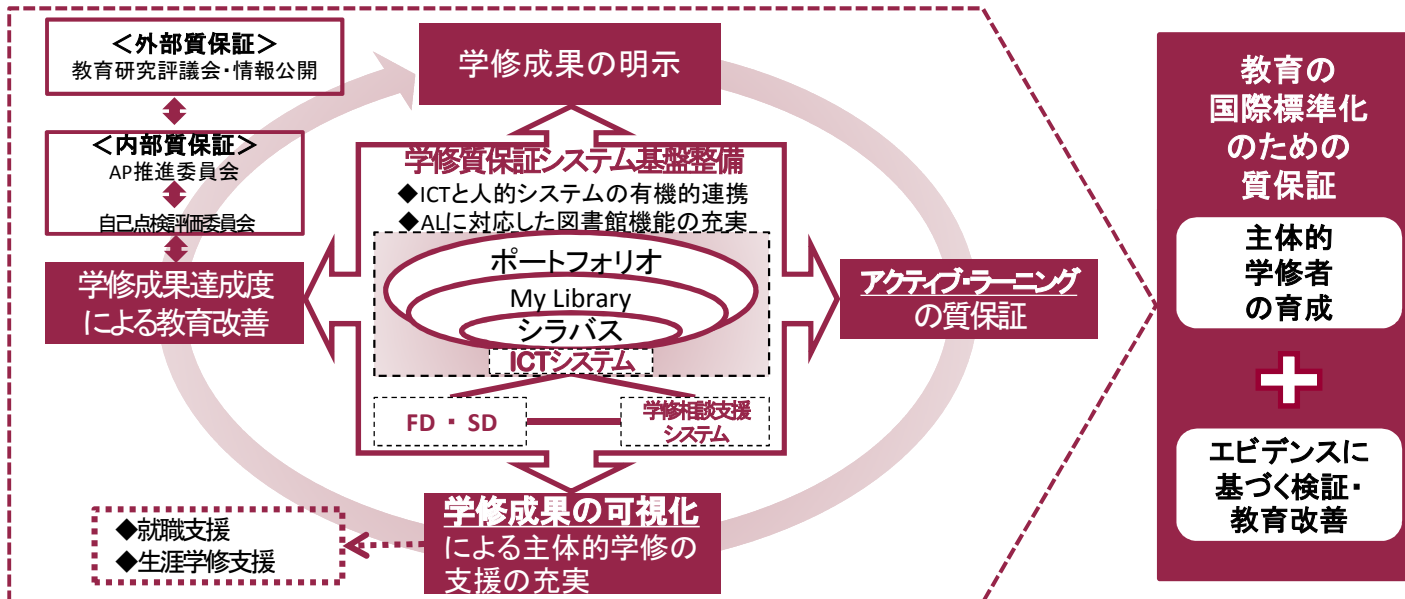
■ ALの質保証

- ◇ ALの指標の開発
- ◇ ALの授業方法の改善による授業の質と密度の向上
- ◇ 授業満足度の向上による授業外学修時間の増加

□ 特色3

■ 学修成果の可視化による主体的学修の支援の充実

- ◇ ポートフォリオの自動多言語化
- ◇ 地域・海外での学修活動・就職活動支援
- ◇ 留学生支援
- ◇ 学生の主体的学修改善



教育の国際標準化のための質保証

主体的学修者の育成



エビデンスに基づく検証・教育改善

【事業の成果】

	26年度	28年度(目標値)	30年度(目標値)
学生の授業外学修時間	未調査	10時間	15時間
アクティブ・ラーニング科目の授業外学修時間	未実施	7時間	8時間
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	93%	93%	93%

【期待される効果】

(大学改革加速)ALの質保証および学修到達度の多面的な可視化により、学生が主体的に学修を改善できる。
(大学全体影響)エビデンスに基づく教育改善を行うことにより主体的学修者を効果的に育成でき、単位制度の実質化を進めることで教育の国際通用性が高まる。